

(1)第2期愛西市子ども・子育て支援事業計画の進捗状況について

番号	意見	回答
1	<p>多く課において、相談窓口、支援事業があり、実績も上がってきているように思います。ただ、そういった事業について、まだ多くの人に知られていないように思います。お子さんの発達に不安を感じていたり、なんとなく育てにくさを感じながらもそのまま過ごしていらっしゃるご家庭はたくさんあると思います。是非、もっとアピールしたり、気軽に相談できるような環境づくりをしていただきたいと思います。</p>	<p>周知活動については、あらゆる手立てで一層徹底してくとともに、工夫を凝らしながら進めていきます。</p>
2	<p>ファミリーサポートセンターの利用者が減っているのは、コロナでリモートワークなどが増えているためなのか？ 困窮している人が増えたのか？ さらなる利用料金の助成が必要なのか？</p>	<p>ファミリーサポートセンターの利用者減については、リモートワークによるものか定かではありませんが、新型コロナウイルス感染症が影響しているものと考えます。 利用料金については、利用に応じた負担をお願いしたいと考えています。</p>
3	<p>時間外保育をやっているので、働くお母さんにとって、とても有難いことだと思う。</p>	<p>時間外保育は、今後とも継続して実施する予定です。</p>
4	<p>資料1-2②妊娠届出時アンケート結果について「困っているときに助けてくれる人がいない」「中絶2回以上」「精神疾患の既往」「2週間以上続いたうつ状態」に当てはまる方のケアはどうなっていますか？ 出産後の虐待につながらないようにケアをお願いします。 子育て支援センターや母親クラブなど妊娠中から参加できるサークルの紹介をお願いします。 新型コロナの影響で今まで以上に不安になっている妊娠さん、お母さんが多いと思います。</p>	<p>妊娠届出時はすべての妊婦に対して母子コーディネーター、保健師が個別面接をしています。その中で妊娠中から産後までの「ママの出産応援プラン」、出生から乳児期までの「子育て応援プラン」を作っています。利用できるサービス、必要なサポートを妊婦とともに考え、計画を立て、情報提供しています。 また支援が必要な方は、妊娠中から地区担当保健師がつながり、安心して出産子育てができるよう支援しています。 身近な子育て支援センター等は妊娠中から紹介をしています。</p>
5	<p>数字だけ見ても分かりにくかった。 「子育て短期支援事業」何が行われているのか？</p>	<p>保護者が疾病等で、児童を家庭で養育することが困難なときに、短期間の児童養護施設等を利用して、子どもを預かる事業となります。</p>
6	<p>「人回/月」、「人日/月」の表現がわかりません。</p>	<p>1日又は1回あたりの利用人数の年間延べ数を12で割ることで、1か月あたりの平均を表したものになります。</p>

7	<p>あいさいっ子相談室の実施状況 やはり母の相談が多いのだなというのが分かった。身近で気が付けているのはほっとする。 「中高生、その他」の区分の相談に対する結果がなさすぎる。これでは相談できない。</p>	<p>資料1-2裏面の表に誤りがありました。 ①相談件数及び相談方法、相談者の表： 年齢「その他」実人員13名→3名 相談件数及び相談結果から、乳幼児期は、話を聴く、助言・情報提供などで終結する方が多くいますが、学童期以降は1回の相談では解決できず、その後も相談を継続している方が多いと考えています。引き続きあいさいっ子相談室の周知を図り、気軽に相談しやすい環境づくりに努めていきます。</p>
8	<p>産後ケア事業の利用は少ない様に感じます。ハイリスクの家のみでの利用で しょうか？</p>	<p>産後ケア事業は、ハイリスクの方ということではなく、身近に支援者がいない方、産後に心身の不調または育児不安等がある方で支援を必要とする方を対象にしています。宿泊して、母の心身の休息と具体的な育児指導を受けることができる事業となります。</p>

(2) 第2期愛西市子育て応援プランの進捗状況について

番号	意見	回答
1	応援プランは、充実していますので、声を出せない人、地域とかかわりたくない人などに届くよう啓発活動、情報発信により一層取り組んでいただきたいと思ひます。	広報やホームページ、子育て応援アプリ「あいさいっ子応援ナビ」に掲載、イベント等チラシを配布する等、様々な機会を活かし周知に努めています。今後も幅広い周知に取り組んでいきます。
2	さまざまな事業を行って素晴らしいと思ひが、利用対象の家庭に様々な事業があつて利用できることがあるということが浸透してゐるのであろうか？PRはどのようにやっているのか？	
3	あいさいっ子相談室へのハードルが高い。入園前の児童館の様にはなかなかないかと思いますが、もう少し相談しやすい場所であつて欲しい。入学時、4月の新年度にもらうプリントが周知になるとして配布しているとしたら、知ることにはなつても利用にはならない。低学年で学校への登校少ない人結構います。	地域の子育て支援センター、児童館等へ巡回し、身近なところで相談を受ける機会を設けています。また、学童期子どもたちについては、学校教育課と連携して、各学校の代表者の会議などの場、また民生児童委員協議会等でも周知をする機会を設けています。各学校、各関係機関と連携し、つながるネットワークで周知していきます。
4	一時預かり、もっと周知することは難しいか。多分場所、人の問題で難しい？「一時的に保育が困難、育児疲れ等の理由で」必要な場合というのは、どこで知り得るのか。市側から言われた(声のかかった)人しか利用できないのか？利用したい人、紹介したい人は結構いると思ひます。	一時預かり事業は、市内に居住する概ね生後6か月以上の就学前児童であれば、どなたでも利用できます(施設の空き状況によりご希望に沿えない場合もあります)。市ホームページや『子育てガイド』、子育て応援アプリ『あいさいっ子応援ナビ』などでお知らせしていますが、今後も事業の周知に努めていきます。
5	ママパパ教室への「男性の参加」については、達成されているように思ひます。	母親の就業率も上がつています。親となる二人が参加しやすいよう開催していきます。
6	ファミリーサポートセンターの研修会は、依頼会員の育成のためではないと思ひます。多くのことが学べるよい機会ではありますが、依頼する人の育成ではないです。	「依頼会員の育成」→「依頼・提供会員等の育成」に訂正させていただきます。
7	子育て人材バンクには、どんな人が参加しているのか？ファミリーサポートセンターの提供会員とどう違う？	ファミリーサポートセンターの提供会員は有償ボランティア、子育てお助け隊は無償ボランティアです。身近な地域で子育て支援ができるよう健診等のサポートだけでなく、子育て支援センター・児童館等で親子と触れ合い、気軽に声を掛け合える地域の人になるとよいと考えています。
8	発達障害児等の支援体制は力を入られていると思ひます。良い方向へ向かつていくといいです。	今後とも、発達障害児等の支援に取り組んでいきます。
9	⑨-1不登校対策「登校したくてもできない状態にある不登校児童に対し」とある。「したくない」生徒児童に対しては何も指導等はないということですか？	すべての不登校または登校渋りの状態にあるお子さんやその保護者の方へ相談支援を行っています。
10	⑩-2「母親クラブ」は、和気あいあいとしていて親子自体が主体でよいと思ひますが、地区が限られていて不公平さを感じる。	他の地域でもニーズがあり、体制を整えれば、検討していきたいと考えています。

11	⑩-3いのちの授業は、とてもよい取り組みだと思う。私自身「赤ちゃんと保護者」としても参加し、サポート役でも参加したが、どの立場からもよい経験でした。	引き続き、皆様の意見をふまえて、取り組んでいきます。
12	⑩-4地域の方とのふれあいの場がなくなった。お年寄りも子のお互いを知り合う良い機会だった。運動の機会が奪われ残念です。	新型コロナの影響で人と人とのふれあう機会が減っています。今後とも、感染防止に努め、子育て支援に有効な事業に取り組んでいきます。
13	⑩-7、上に同じ。コロナで仕方ないとは思いつつ、楽しく地域を知る機会だった。	地域の子育て世帯が活躍できるよう、支援を進めていきます。

(3) 公立保育園等事業の状況(予定)について

番号	意見	回答
1	佐屋中央保育園と佐屋北保育園の統合について、佐屋北保育園の地域の人たちは、多少不便さを感じられることになるが、これに対してはどのような事を行って利便性を向上させることができるのか？	佐屋北保育園の近くにお住まいの方にとりましては、利便性の点で不便に感じられることがあるかもしれませんが、統合後は、これまでよりも快適な保育環境で保育サービスを提供してまいります。今年度に佐屋中央保育園の南側に送迎用の駐車場を新たに整備しました。来年度には佐屋中央保育園の改修を行う予定です。
2	統合、民営化について、細かくみればいろいろあると思いますが、子供たちの健やかな成長をいちばんに考える変革は必要なものだと思います。親子が安心して利用できる形を望みます。	統合、民営化後も安心して利用できる保育が提供できるように努めていきます。
3	統合や民営化については、現在利用している人たちが困らないよう、細やかな配慮をお願いします。大変な時期に頑張っている皆様に感謝申し上げます。	今後も利用されている園児・保護者の皆様の理解を得ながら進めていきます。